

<http://www.math-ling.org/>

## 計量国語学会会員研究業績(2018 年度)

※会員から報告された内容をそのまま記載しております。(記載順は姓の 50 音順)

○井上 史雄

Fumio Inoue / 2018/8 / Age-area distribution of linguistic change in progress observed in glottograms / Dialekt/ Dialect 2.0 Langfassungen / pp. 174-194

○大島 資生

大島資生 / 2018/06 / 「「いかに～か」構文について一状態化をもたらす条件一」 / 『都大論究』第 55 号 東京都立大学国語国文学会 / pp.1-11

大島資生 / 2018/11 / 「間接疑問文による連体修飾について」 / 沖森卓也(編)『歴史言語学の射程』三省堂 / pp.380(231)-369(242)

大島資生 / 2019/03 / 「翻訳文における情報提示の順序について(その 2) - 関係詞 which を含む英文とその日本語訳の対照から -」 / 『人文学報』515(11) 首都大学東京大学院人文科学研究科 / pp.1-26

○荻野 綱男

荻野綱男 / 2018/10 / 「言語研究のデータと調査方法論」 / 『日中言語教育と日本語教育』第11号 / pp.1-21

荻野綱男 / 2018/10 / 「第三者敬語の待遇レベルの数量化(完成版)」 / 『日本語学会 2018 年度秋季大会予稿集』 / pp.139-146

荻野綱男 / 2018/10 / 「計量言語学」 / 『日本語学大辞典』東京堂 / pp.293-295

○金水 敏

金水 敏 / 2018/4 / リスト存在文について / 岡崎友子・衣畑智秀・藤本真理子・森勇太『ヴァリエーションの中の日本語史』くろしお出版 / pp. 89-100

○真田 治子

Haruko Sanada / 2018/10 / Negentropy of dependency types and parts of speech in the clause In: Jingyang Jiang and Haitao Liu (eds.) Quantitative analysis of dependency structures / Berlin, New York: Walter de Gruyter / pp.119-144

Haruko Sanada / 2018/07 / Quantitative interrelations of properties of

complement and adjunct. In: Lu Wang, Reinhard Kohler, Arjuna Tuzzi (eds.) Structure, Function and Process in Texts / Luedenschied, Germany: RAM-Verlag / pp.78-99

Haruko Sanada; Gabriel Altmann / 2018 / Word Length and Polysemy in Japanese. / Glottometrics 41 / pp.40-45

Haruko Sanada / 2018 / Quantitative aspects of the clause: length, position and depth of the clause. / Journal of Quantitative Linguistics, online edition. / DOI: 10.1080/09296174.2018.1491749. (No pages)

#### ○財津 亘

財津亘(著);金明哲(監) / 2019/01 / 犯罪捜査のためのテキストマイニング:文章の指紋を探り, サイバー犯罪に挑む計量的文体分析の手法 / 共立出版 / 全 223p

#### ○服部 匡

服部匡 / 2018/05 / 「～てございます」の使用傾向の推移 —「～てある」「～ている」との対応関係に注目して— / 藤田保幸・山崎誠(編) 『複合辞研究の現在 357-376』和泉書院 / pp.357-376

服部匡 / 2018/09 / 敬語接頭辞異形「お～」「ご～」両者の用例のある語について / 言語資源活用ワークショップ 2018

#### ○馬場 俊臣

馬場俊臣 / 2018/08 / 「接続詞の文体差の計量的分析の試み—『BCCWJ 図書館サブコーパスの文体情報』を用いて—」 / 『北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編』69 巻 1号 / pp.1-14

馬場俊臣 / 2018/08 / 「接続詞の文体差の探索的分析—『BCCWJ 図書館サブコーパスの文体情報』5指標を用いて—」 / 『札幌国語研究』23 号 / pp.1-8

馬場俊臣 / 2018/09 / 「『BCCWJ 図書館サブコーパスの文体情報』を利用した語の文体差研究の可能性」 / 『言語資源活用ワークショップ発表論文集』3 号 / pp.241-256

馬場俊臣 / 2018/12 / 「複合接続表現の文体差—助動詞で始まる複合接続表現について—」 / 『語学文学』57 号 / pp.1-10

馬場俊臣 / 2019/02 / 「BCCWJ 文体情報の各文体指標の特徴語—『BCCWJ 図書館サブコーパスの文体情報』を用いて—」 / 『北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編』69 巻 2 号 / pp.1-14

#### ○林 雅子

林雅子 / 2019/3 / 「報告:東北大学日本語教育プログラムにおけるレベル別語彙リスト開発

のための調査研究」/『東北大学 高度教養教育・学生支援機構紀要』第 5 号/pp.337-340

○森 秀明

森秀明/2018/03/森秀明「学習者コーパスを使用したレベル別頻度比較の方法」/『Learner Corpus Studies in Asia and the World(LCSAW)』3号、School of Languages & Communication Kobe University/pp.303-322

森秀明/2018/09/「連体助詞の「ノ」と文体の関係」/『言語資源活用ワークショップ 2018 発表論文集』/pp.34-46

森秀明/2018/09/「コーパス分析における生態学的誤謬」/『計量国語学会第六十二回大会予稿集』/pp.19-24

○山崎 誠

Makoto Yamazaki; Yumi Miyazaki; Wakako Kashino/2018/05/Annotation and Quantitative Analysis of Speaker Information in Novel Conversation Sentences in Japanese/The LREC 2018 Proceedings/pp.1078-1081

山崎誠/2018/05/形態論的特徴から見た複合辞—『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の形態論情報を利用して—/『形式語研究の現在』和泉書院/pp.395-406

山崎誠/2018/09/話し言葉における代名詞「あれ」の用法の分布/言語資源活用ワークショップ 2018 予稿集/pp.418-419

山崎誠;宮崎由美;柏野和佳子/2018/09/BCCWJ 小説会話文への発話者情報の付与と計量的分析/計量国語学会第 62 回大会予稿集/pp.13-18

宇佐美まゆみ;山崎誠/2018/09/『BTSJ 日本語自然会話コーパス(トランスクリプト・音声) 2018 年版』の紹介と『BTSJ 文字化入力支援・自動集計・複数ファイル自動集計システム セット』を用いた分析法/計量国語学会第 62 回大会予稿集

東条佳奈;内山清子;岡照晃;小野正子;相良かおる;山崎誠/2018/09/実践医療用語に現れる語構成要素の辞書構築にむけて/計量国語学会第 62 回大会予稿集/相良かおる;

小野正子;山崎誠/2018/11/UTF 版実践医療用語辞書 ComeJisyo1.0 の作成/第 38 回医療情報学連合大会(第 19 回医療情報学会学術大会)予稿集/pp.508-511

加藤祥;浅原正幸;山崎誠/2018/10/『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の新聞・書籍・雑誌データに対する分類語彙表番号付与/日本語学会 2018 年度秋季大会予稿集/pp.161-166

宇佐美まゆみ;山崎誠/2018/10/『BTSJ 日本語自然会話コーパス 2018 年版』における一人称・二人称代名詞の使用実態/日本語学会 2018 年度秋季大会予稿集/pp.221-226

荻原亜彩美;森山奈々美;浅原正幸;加藤祥;山崎誠/2019/03/『分類語彙表』に対する反  
対語情報付与/言語処理学会 25 回年次大会予稿集/pp.1061-1064

山崎誠;大村舞/2019/03/『日本語日常会話コーパス』モニター公開版の語彙/言語処理  
学会 25 回年次大会予稿集/pp.1285-1288

○横山 詔一

横山詔一;杉戸清樹;佐藤和之;米田正人;前田忠彦;阿部貴人(編)/2019/09/『社会言語  
科学の源流を追う』(社会言語科学会 シリーズ社会言語科学 2)/ひつじ書房/全  
296p